

前期実施計画の進行管理票

資料 3

【進行管理票の見方】

白井市男女平等推進行動計画(2016～2025) 進行管理票

3 誰もが安心して健やかに生きられる社会をつくらう

男女が互いの身体的性差を十分に理解し合い、人権を尊重しつつ、相手に対する思いやりを持って生きていくことは、男女共同参画社会の形成に当たっての前提です。配偶者間暴力(DV)や児童・高齢者・障がい者への虐待は、人権の侵害、力による支配といった共通要素を持ち、複合して発生することも多いことから、啓発等による防止を図るほか、横断的な連携で切れ目のない相談支援を行い、被害者の保護・救済を図ります。
また、東日本大震災の教訓から、防災・災害対策に関する取り組みにおける男女共同参画の視点の重要性についての認識が広まりました。平常時から防災・災害対策に関する取り組み、災害時の避難所開設・運営に男女共同参画の視点を反映します。
健康支援においても、性差に基づく男女固有の健康上の課題とニーズ、特に女性は妊娠・出産機能があり、性と生殖に関する健康について、誰もが理解し尊重できるように取り組みを行います。
市内に居住する外国人数は一貫して増加傾向にあり、人口に対する比率も上昇し続けています。市内における多文化共生推進と外国人配偶者ならではの問題を解消するため、外国人住民への支援を行います。

各計画番号の最初のみの全文を記載し、以降は表題のみとなっています

(1) DVの防止・対策

ア 予防・啓発(DV防止基本計画)

事例の早期発見・解決を図るため、啓発によりDVの実態について周知し、パートナー間の関係の健全化を促すほか、相談窓口の周知を行います。

No	取り組み	担当課	目標	対象	実施年度			
93	DV防止のための啓発・窓口周知	社会福祉課	市民がDVについて理解を深め、また相談窓口の情報を得られ、被害者がすぐに相談につながる	市民	H28～R2			
年度	実施した事業	実績指標	実績値 (合計:女:男:他)		実施状況	今後の方針(改善点)		
28	・広報4月1日号・HPなどで相談窓口を周知 ・11月自治回覧で自治会に啓発チラシを配布 ・コミュニケーション講座開催(2/25) テーマ:「ハートのコミュニケーション」～子ども心に伝わる話し方～ 講師:鈴木もえみさん(フリーアナウンサー) 保育人数:8人	講座受講者数(人)	34	33	1	0	○	
29	・広報4月1日号・HPなどで相談窓口を周知 ・11月自治回覧で自治会に啓発チラシを配布 ・コミュニケーション講座開催(3/5) テーマ:「落語から学ぶコミュニケーション」～上手なコミュニケーションの取り方(家族編)～ 講師:山遊亭金太郎さん(落語家) 保育人数:3人	講座受講者数(人)	38	25	13	0	○	
30	・広報4月1日号・HPなどで相談窓口を周知 ・11月自治回覧で自治会に啓発チラシを配布 ・コミュニケーション講座開催(2/23、3/2) テーマ:「知れば変わる!アンガーマネジメント」～上手な人間関係の作り方～ 講師:菅野昭子さん(日本アンガーマネジメント協会公認ファシリテーター) 保育人数:5人	講座受講者数(人)	40	29	11	0	○	
31	・広報4月1日号・HPなどで相談窓口を周知 ・11月自治回覧で自治会に啓発チラシを配布	講座受講者数(人)	0	0	0	0	△	コミュニケーション講座について、新型コロナウイルス感染症対策のため中止
R2	・広報4月1日号・HPなどで相談窓口を周知 ・コミュニケーション講座開催(3/28) テーマ「アドラー心理学で自分も周りも笑顔に～自分を勇気づけ、他者も勇気づけるコツ～」 講師:鶴田恵美子さん(日本支援助言士協会会長)	講座受講者数(人)	20	15	5	0	○	

実施状況について、4段階で記入してあります
◎:当初の予定以上の実績を達成した
○:当初の予定通りの実績を達成した
△:当初の予定通りには実績を達成できなかった
×:全く実績がなかった
※空欄については事業自体がなかったものです
※新型コロナウイルス感染症拡大の影響により実施できなかったことで評価が変わったものについてはセルに印をつけています

左の指標の実績値が記入してあります
人数を指標として設定した場合は、可能な範囲で左欄から合計、女性、男性、その他の性別の順番で記入してあります

各年度の実績を、端的に要約して記入してあります

取り組みの実施状況や達成状況が端的に分かる指標があれば、指標名を記入してあります